

## 後期基本計画 令和 3年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

主管課長職・氏名	観光物産課長 大槻 智康
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 3年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>地域が潤い市民とともに素晴らしい滝沢の創造を目指して、新たな課題に対応し観光物産振興を推進するため、連携する団体及び市内事業者の支援を行います。また、市内観光や物産の各資源の最新情報を収集蓄積し活用するとともに、地域資源の情報の発信により交流人口の拡大と経済効果を生み出すことで、市内事業者の経営力強化、雇用の確保に努め地域の潤いにつながる産業振興を推進します。</p>
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	41.9	43.9	46	48	50	50	C
			48.7	48.9	44.9	-	-	37.0
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010100 公民連携による観光まちづくり ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合 単位 %	25.9	27	29	31	33	33	D
			29.5	26.3	13.6	-	-	△173.2
2	暮らし 03010200 安定した雇用の確保 現在の仕事に満足している人の割合 単位 %	55.1	56	58	59	61	61	D
			53.4	52.3	54.5	-	-	△10.2
	単位							
	単位							
	単位							

## 後期基本計画 令和 3年度 基本施策方針評価書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策：01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

主管課長職・氏名	観光物産課長 大槻 智康
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての令和 3年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>・地域の潤いにつながる観光資源の発信については、滝沢市観光協会のホームページ、SNS等を更新し各種情報発信を市と連携して実施しました。また、観光物産については、既存の資源を活かしつつ、地域おこし協力隊員による地域資源を活用した物産販売、PR動画等により情報発信の取り組みを実施いたしました。</p>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT等を利用した観光情報の発信と交流人口の拡大</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の潤いにつながる観光資源のICT等を利用した観光情報の発信については、滝沢市観光協会、滝沢市交流拠点複合施設の指定管理者と連携し、地域資源の情報発信を目的にイベントの開催、ホームページ等を活用した各種情報発信を実施いたしました。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての令和 3年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>令和元年度末から国内で拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の主要なイベントが中止となり、市内のイベントについても同様に中止となっています。令和3年度末以降、新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれず、引き続き感染防止対策を講じたイベントの実施など大規模なイベントの実施が難しい状況にあります。</p>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策の「公民連携による観光まちづくり」は、今後の観光資源の発信と活用につながり、「安定した雇用の確保」は、地域の潤いにつながる事から、基本施策の「地域の潤いにつながる観光資源の発信」の見直しは必要ないと考えます。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 5年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、市内のイベントについて中止または、延期となっています。令和3年度末以降も新型コロナウイルス感染症の収束の見込まれず、引き続き感染防止対策を講じたイベントの実施など例年と同様な形態でのイベントの実施が難しい状況にあります。イベントの実施方法など新たな生活様式に配慮したイベントの実施を検討する必要があります。</li> </ul> <p>【引継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光分野の分野別計画を策定する必要があります。</li> </ul>	

